

# 「平成34年度までにむし歯のない3歳児を90%以上に増加させることを達成するための取り組み」

関係機関からのご意見・ご提案	
<b>歯科の啓発</b>	
熊本大学	地域の小児科医と連携して広報活動を実施
市医師会	ポスターやチラシを産婦人科、小児科に設置。受診の際に歯科検診の受診勧奨
市歯科医師会	ダイレクトメールによる受診勧奨、パンフレット等の充実
県看護協会	妊婦健診時に、計測値の記入欄や備考欄に歯科受診を追加し、助産師がチェックできるようにする
市保育園連盟	各保育園での歯科健診後、有病児の治療報告を徹底し、「むし歯のない3歳児」をスローガンにかかげて案内を継続
<b>歯科健康教育の充実</b>	
熊本大学	各団体が3歳未満児の保護者に啓蒙・教育を実施
市歯科医師会	様々な健康教室の開催
県看護協会	思春期や学童期からの歯の健康維持についての講話の実施
県歯科衛生士会	保育園、幼稚園で保護者の集まる日にフッ化物や仕上げ磨きの必要性を話し8020につなげていくことを行政に願う
私立幼稚園協会	未就園児を対象とした子育てサークルでの歯科医師の講話や保健師の方に口腔内の衛生や歯みがきについての指導を組み入れる。園内では歯科健診の結果報告やフッ化物洗口についてもあわせて保護者研修会の場を設ける
市保育園連盟	統一した治療報告書等を作ったり、親子での歯に対する意識付けを行う為、園での案内(行事後の子育て支援として講習・研修・お話しなど名称付けて)に取り組む
8020健康づくりの会	母親への教育、情報提供。いろいろな手段を講じて、乳歯が完成するまでに気をつけること、注意すべきことを徹底する
<b>歯科指導内容の見直しと充実</b>	
市歯科医師会	健康観が非常に高まっている妊娠期において、検診に来られた方への説明や指導を歯科医師会会員に徹底して行く予定。親子手帳交付時の相談内容の見直し
県看護協会	母親学級や集団指導時の歯科医師・歯科衛生士の指導等の強化
県歯科衛生士会	出産の多い産科病院に行き、入院中の妊婦教室に歯科保健指導を入れてもらう(部外者の許可が問題)。子ども文化会館での歯科指導の継続。小児科医による7カ月児健診で、歯科衛生士による歯科保健指導を行う(雇用関係が問題)
<b>歯科健診事業の充実</b>	
市歯科医師会	可能であれば妊婦歯科健診を2回実施
<b>その他</b>	
市医師会	成績の良い他の自治体の活動との違いを比較検討
市薬剤師会	提案いただいたことは実施する

行政	
現状	今後取り組むこと
<b>胎児期及び妊娠期</b>	<b>歯科の啓発</b>
<b>妊婦歯科健診</b> ⇒歯科健診・相談、口腔衛生指導 ※妊婦歯科健診を歯科医院で受診する方への案内【参考資料1-2】	・産科医療機関、小児科医療機関との連携、情報提供 ・啓発ポスターの作成
<b>もうすぐパパママ教室</b> ⇒妊娠中の生活や出産後の育児に必要な講話	・市内のローソン各店舗や市役所、区役所などでの無料歯科健診付き啓発カードの配布
<b>乳幼児期</b>	<b>歯科健康教育の充実</b>
<b>育児教室</b> ⇒乳児の発育、健康増進のための講話	・実施中の健康教室(左記)の充実
<b>ピカピカカミカミ教室</b> ⇒仕上げみがきの実習、講話	・保育園、幼稚園の保護者を対象にフッ化物や仕上げ磨きの必要性を伝える
<b>育児相談</b>	・保育士等向け研修会の開催
<b>「満1歳おめでとうカード」の郵送</b> ⇒【参考資料2】	
<b>1歳6ヶ月児歯科健康診査</b> ⇒歯科健診・相談、口腔衛生指導、フッ化物塗布体験	
<b>3歳児歯科健康診査</b> ⇒歯科健診・相談、口腔衛生指導	
<b>保育園・幼稚園における歯科健康教育</b> ⇒園児への歯みがき教室、保護者への歯科講話など	
<b>障がい児及び発達に不安のある児のむし歯予防(歯っぴー)事業</b> ⇒フッ化物塗布、口腔ケア、歯科相談	<b>歯科指導内容の見直しと充実</b>
	・医療関係者向け研修会の開催(医師会や看護協会、歯科医師会、歯科衛生士会等)
～4、5歳児対象～	・親子手帳交付時の指導内容の充実
<b>保育園・幼稚園におけるフッ化物洗口新規導入支援事業(4、5歳児)</b> ⇒実施園への洗口支援、歯みがき指導、未実施園への働きかけ、園長や保護者への説明会の実施など ※「フッ化物洗口でむし歯予防」チラシの配布等【参考資料3】	
<b>地域のイベント等における啓発</b> ⇒フッ化物洗口の体験、「フッ化物洗口でむし歯予防」チラシの配布等	



歯科保健推進協議会として取り組むこと  
(今後の計画等) 案

スローガン

『熊本市歯っぴー39 チャレンジ』  
サンキュー 

チャレンジ1: 歯科の啓発

- ◆市歯科医師会
  - ・受診率の高い産婦人科での妊婦健診の際に歯科健診の啓発を行う。
  - ・次年度3つ折パンフレットを作成し、市医師会へ産婦人科で配布してもらうよう協力依頼を行う予定。
- ◆市保育園連盟
  - ・園児の様子や流行の病気等を載せた掲示板を保育園に設置(保護者に好評)しているの、その掲示板に歯科のことも載せたら良いかと思う。→「見える化」
- ◆市私立幼稚園協会
  - ・新入園児を対象に働きかけたい。
- ◆市薬剤師会
  - ・薬局には美しくなりたい方がよく来られるので、(別添のローソンに設置するカードのように)歯がきれいだと美しくなることを強調して良いと思う。→受診率向上
  - ・薬局には様々な方が来られるので、そこで情報発信などの協力を行う。

チャレンジ2:

- ◆市歯科医師会 歯科健康教育の充実
  - ・様々な場面で歯科講話をする機会を増やしたい。
- ◆県歯科衛生士会
  - ・子ども文化会館での妊娠中、子育て中の方(主に3歳未満)への歯科講話、歯みがき指導を継続実施する。
- ◆市私立幼稚園協会
  - ・子育てサークル(未就園児対象)における園歯科医による講話や歯みがき指導を実施。
  - ・年に2~3回保護者対象の講話に歯科の内容を入れるよう保護者と話し合いながら進めていきたい。
- ◆県看護協会
  - ・小中高生に性教育(命の大切さ)を話しに行っているの、そこに歯科も取り入れていきたい。

チャレンジ3:

- ◆市医師会 歯科指導内容の見直しと充実
  - ・産科医や看護に、歯科健診の事を一言添える。
- ◆県歯科衛生士会
  - ・産科病院において妊婦教室に歯科保健指導を入れてもらうことができれば実施する。
  - ・小児科の7か月児健診で歯科保健指導が出来れば協力する。